

生き残りをかけての

# 集中改革プラン

平成17年度～平成21年度

平成18年3月31日公表

東白川村

# 生き残りをかけての 集中改革プラン

【経過】 村が取り組んできました市町村合併の先行きは、今も不透明な状況にあります。  
16年末に合併協議が破綻した後、あらたな合併を模索しながらも当分の間は単独運営をめざし、生き残り改革のもと、歳入の確保策と歳出の削減策を駆使しながら17年度をスタートしました。本年度も終盤となり、現在は17年度実績の把握や18年度へ移行する時期を迎えています。

【課題】 村にとって最大の窮地になると予測されるのが、平成19年度以降の予算編成時に財源の確保ができるかどうか？ 国から村に交付されている地方交付税の額が**どれだけ削減されるのか**、というところにあります。国の方針で村の先行きが大きく左右される本村の苦しい事情がここにあります。これに対応できるような行財政の運営が課題となり、そのためには今まで以上の構造改革を推進する必要があります。

【方針】 苦しくてもこれに対処しなければなりません。歳入が削減されれば、これに見合う歳出の削減をしなければなりません。そして、真に必要な業務の精選や無駄を省く見直し等を進めてまいります。その骨子となるのが、第四次行政改革大綱（平成16年度～平成20年度）です。今回、これに平成22年4月1日を目標に平成21年度までの継続した取り組みを位置づけして取り扱う集中改革プランを定めました。この集中改革プランでは、あらたなむらづくりの指針となる「**住民との協働によるむらづくり**」と「**簡素で効率的な行財政システムの構築**」をめざし「**元気と笑顔が集うむら**」の実現に努めてまいります。

平成17年度から22年4月1日を到達目標にした主要な改革骨子

実施期間 平成17年度～平成21年度

目標 平成22年4月1日

# 集中改革プランの主な内容

ポイント 歳入の確保と人件費の抑制  
無駄を省く工夫と経費の節減  
効率的な組織・機構と迅速な行政運営

積極的な住民参加意識の高揚  
I Tの有効活用と情報発信

## 事務・事業の再編・整理、廃止・統合

あらゆる行政課題や住民の多様な要請に即応するため、絶えずその組織・機構や事務事業の必要性、効率性緊急性を踏まえ、行政能力の向上を図るとともに、最少の経費で最大の効果が上げられる簡素で効率的な機構の構築や行政運営の確立を図り、住民サービス向上の観点から事務手続きの簡素、効率化を進めます。

課・係の再編	H16	7課1局	現在：4課1局	目標時：3課1局に向けて検討
保育園の一園化			目標時：H17.4.1	一園に統合し、運営開始
人員の適正配置による事務・事業の再編・整理の実施				
C A T Vを活用した地域の情報化と行政事務の情報化を進め、効率的な組織・機構の運営と事務の推進により、簡素で分かり易い役場の業務をめざします。				
東白川病院の診療所化			目標時：H21.4.1	有床の診療所に転換
病診連携により、安心して医療が受けられる体制の整備に努めます。				
事務・事業の見直し	H17年度	休止を含めて43事業の廃止	H18年度	23事業廃止 + 収入役の廃止
有線放送業務の廃止とC A T Vを活用した事務・事業の推進				
広報誌・情報紙 C A T V放送への転換				
事務の一元化（給与、旅費、福利厚生ほか）を検討				
共通事務を一括して処理する体制への移行を検討				

## 民間委託等の推進

役場の業務のうち、専門的・高度な業務等民間に委託することが効率的・効果的な業務については、行政責任の確保、住民サービスの向上、個人情報の保護の観点に留意しつつ、指定管理者制度の運用を含め積極的に民間に委託することを推進します。

指定管理者制度の導入と適正運用 目標時：H18.9.1 指定施設 4 4 施設

ゴミ収集業務 現在：一部委託 目標時：H19.4.1 全部委託

そのほか、民間に委託することでより効果が得られるものについては、民間等への委託を推進します。

公共（集会）施設等の管理のあり方を検討

将来、自治会等への譲渡を含めて検討します。

## 定員管理適正化の推進

本村の職員数は、総務省の定める「定員モデル」や「類似団体別職員数」と比較し、若干多くなっています。増加する行政需用に弾力的かつ的確に対処できるよう適正な定員管理を推進し、職員数の削減に努めます。削減方法は、定数条例を改正し退職者の不補充や勧奨退職制度の活用と新規採用を抑制することにより計画的に削減を図るよう努めるとともに、組織の見直し、事務事業の見直しにより適切な人員の配置と事務の分掌により行政のスリム化に努めます。

職員数の適正化計画 現在：86人 目標時：72人（14人：16.3%）

（うち公営企業 20人 19人（1人：5.0%）

退職者の不補充と臨時職員の雇用の抑制による人件費削減

退職者（勧奨退職者含む）の不補充による人員削減

全国の町村の中から人口規模や財政力などにおいて類似する自治体との比較により、人員数を比較判断し適正化を推進することにより、職員数の削減に努めます。

## 給与の適正化の推進

職員の給与制度については、国における給与制度の改正を踏まえ、住民の皆さんの理解が得られるよう、給与制度の運用・水準等をめざします。給与の適正化を推進するため、特殊勤務手当をはじめとする各種手当での総点検を実施し、総人件費の抑制に努めます。

各種手当の見直し	総点検の実施	目標時：H22.4.1	特殊勤務手当を含む全手当について見直す
給料表の運用	人事院勧告の完全実施	目標時：H18.4.1	給与表、昇給時期の統一、昇給を5段階に
	ラスパイレス指数改善	給与表適用の改善	7級 6級：加茂郡下6町と同様に改善
特別職の報酬等	の見直し	H17.4.1～	村長 3% 収入役 2% 教育長 2%
			その他の委員の日額 5,500 5,000 円
期末手当	の見直し	H17.4.1	議員、村三役、職員 一率 20%削減
		H18.4.1	議員 20%削減、村三役、職員 一率 10%削減

## 第三セクターの見直し

村には現在3つの第三セクターがあります。これらは、それぞれの設立された目的を達成するため鋭意努力が成され成果を上げています。今後は、会社としての活動を発展させるため、民間の活力が最大限に発揮されるよう民間主導の運営に切り替え、出資比率や役員構成を見直して村の関与を低減し会社の自立した運営をめざします。

法人の自立の促進	3つの第三セクターの経営の健全化と独立採算を貫くよう指導	
	将来、民営化に向けての年次計画的な取組みを検討	出資比率の見直し(住民立会社)
		長期債務の解消
	H17.4.1	取組み事項：担当参事の設置

## 経費節減等の財政効果

経費全般について徹底的な見直しを行い、その節減合理化に努めるとともに、支出段階でのチェックを行い、予算の適正な執行を図ります。厳しい財政運営について再認識した上で、受益者負担の適正化や収納対策、徴収率の向上に努めます。併せて、経常収支比率の減少策の検討を行い、財政構造の改善を図り、その健全運営に努めます。

歳入の確保	H17.4.1～ 取組み事項：滞納対策担当参事の設置 (自主財源の確保) 保育料、建物貸付料、各種施設使用料の見直し 水道使用料の見直し 未利用公有財産(土地等)の譲渡処分
	H18.4.1～ 取組み事項：母子健康センター使用料の見直し 病院の使用料・手数料の見直し
歳出の削減	H17.4.1～ 取組み事項：運営費的補助金等の見直し 単独福祉医療費等の見直し 勸奨退職・退職者不補充による人件費の削減 臨時職員の抑制 議員・特別職職員・職員の期末手当のカット 特別職等の報酬見直し
	H18.4.1～ 取組み事項：宿直勤務体制の見直し 2人 1人 CATV活用による経費削減 広報等の印刷製本費及び 各種印刷情報誌の作成費並びに新聞折込料の削減(事務嘱 託員配布物の削減効果)

## その他

本村の議会は議会改革検討委員会を設置し、議会自らの改革を検討し実行に移しています。

また、本村には地方公営企業法適用の病院事業と非適用の簡易水道事業、小規模下水事業があります。どの事業においても、経営の健全化をめざし不断の取り組みを進めてきましたが、一層の運営適正化に努めるとともに、今後の経営手法の検討や経営基盤の強化に取り組み経営の安定化を図ります。

議会改革	議員定数	現在：12人	目標時：H18.4.24	7人(5)
	委員会数	2	目標時：1	(1)
住人と行政との協働によるむらづくりへの取り組み	住民等からの提案の受付と検討、実施に向けた取り組み			
特別会計の経営の健全化の取り組み	特別会計等への繰出金の抑制 病院事業会計、国保特別会計、老保特別会計、 介護特別会計、簡水特別会計、下水特別会計			
地方公営企業等の経営の健全化への取り組み				
経営改革の推進	水道：利用率70%	下水：合理化策の検討	病院：診療所への転換	
定員管理・給与の適正化	地方行政の実態に即した人員と給与の適正化を図る		特殊勤務手当の見直し	
経費等の節減効果	収入	料金の一部改正	100%徴収の継続	料金の一部改正
	支出	人件費の抑制	人件費の抑制	人件費の抑制・保守契約の見直し

住民と行政の役割分担のあり方を明確にし、協働によるむらづくりを推進するシステムづくり

限られた資源(人、モノ、財源)で最大の住民サービスを提供する行財政システムづくり

東白川村役場 総務課